

### 特集 第44回日本医学教育学会大会予稿集

「第44回日本医学教育学会大会開催にあたって」ご挨拶	末松 誠	i
日本医学教育学会大会開催記録		ii
臨床研究の利益相反の開示について		v
大会日程表		vii
会場へのアクセス		xii
会場案内図		xii
大会参加者へのお願いとご案内		xiv
大会運営組織		xx
大会プログラム		xxii
大会長講演：一身独立の若手医療人育成を目指して	末松 誠	1
招請講演Ⅰ：The Challenge of Medical Education in the 21st Century and the Dragonfly Effect	Ronald M. Harden	2
招請講演Ⅱ：日本における近代医学の原点を辿る－福澤諭吉と北里柴三郎－	北里 一郎	4
招請講演Ⅲ：Learning to Teach and Teaching to Learn: A Personal Approach to Interactive Education	R. Harsha Rao	6
日韓医学教育学会交流招請講演：Clinical Skills Examination in the Korean Medical Licensing Examination	Young Hwan Lee	8
市民公開講演(名誉会長講演)：百歳の長寿から学んだ私の言葉	日野原 重明	10
教育講演：苦難の時こそ、医療者としての思いが現れる～公立志津川病院での東日本大震災の体験を通して～	菅野 武	12
シンポジウムⅠ：若手医療人の育成－卒前・卒後の臨床教育のあり方－		13
シンポジウムⅡ：医療プロフェッショナリズム教育とその具体的な取り組み		16
シンポジウムⅢ：福澤諭吉『學問のすゝめ』に学ぶ医学教育		20
シンポジウムⅣ：認定医学教育専門家の位置づけと求められる役割		22
シンポジウムⅤ：新たな医学教育のすゝめ		25
パネルディスカッションⅠ：市民ガバナンス時代の医師養成 －市民、医師その他専門職、人文・社会学者はどのような協働が可能か－		28
パネルディスカッションⅡ：診療参加型臨床実習の評価		31
パネルディスカッションⅢ：グローバルスタンダードに基づく医学教育機関認証評価機構設立にむけて		34
パネルディスカッションⅣ：専門医vs総合診療医の育成と課題		36
パネルディスカッションⅤ：基礎医学教育の今後のあり方		39
モーニングセミナーⅠ：医学教育のための医療シミュレーションの効果的な使用 －マイアミ大学Gordon Center for Research in Medical Educationの経験－		42
モーニングセミナーⅡ：E-ラーニングを活用した臨床推論教育の実践報告		43
ランチョンセミナーⅠ：電子線マイクロアナライザによる組織切片元素イメージング技術		44
ランチョンセミナーⅡ：脳梗塞の病態と診断・治療		45
ランチョンセミナーⅢ：慶應義塾大学医学部における卒前・卒後の漢方教育研修プログラム		46
ランチョンセミナーⅣ：がん化学療法・緩和ケアのウソ・ホント		47
ランチョンセミナーⅤ：頸静脈の視診法をお教えします！心疾患の診察法－教育方法と肺高血圧症への適用		48
ランチョンセミナーⅥ：インターネットがもたらした医学教育の変革と、これからの医療系データベースとの付き合い方		49
ランチョンセミナーⅦ：エコーで描出可能な胸腔穿刺シミュレータの開発		50
ランチョンセミナーⅧ：手技評価と挿管困難症例の再現が可能な気道管理シミュレーター		51
ランチョンセミナーⅨ：癌患者の血中遊離アミノ酸プロファイルの変化と診断マーカーとしての可能性		52
ランチョンセミナーⅩ：がん幹細胞の代謝特性		53
ランチョンセミナーⅪ：アルツハイマー型認知症根本治療薬開発の可能性を探る		54
ランチョンセミナーⅫ：次代を担う若手医療人の育成を考える－炎症性腸疾患を専門とする臨床医からのメッセージ－		55
一般演題：27日(口演1)：入学者選抜・Early exposure		56
一般演題：27日(口演2-I)：準備教育・教養教育・基礎医学教育Ⅰ		58
一般演題：27日(口演2-II)：準備教育・教養教育・基礎医学教育Ⅱ		60
一般演題：27日(口演3-I)：シミュレーション教育Ⅰ		62
一般演題：27日(口演3-II)：シミュレーション教育Ⅱ		64

### 編集委員会

福島 統 (慈恵医大、委員長)

高橋 都 (獨協医大)

山岡章浩 (天草セントラル病院)

小林志津子 (東京医大)

武田裕子 (ロンドン大)

西城卓也 (岐阜大)

椎橋美智男 (埼玉医大、副委員長)

錦織 宏 (京都大)

一般演題：27日(口演3-III)：シミュレーション教育Ⅲ	66
一般演題：27日(口演4)：SP養成, SP参加型教育	68
一般演題：27日(口演5-I)：卒後臨床教育, 臨床研修制度Ⅰ	71
一般演題：27日(口演5-II)：卒後臨床教育, 臨床研修制度Ⅱ	73
一般演題：27日(口演5-III)：卒後臨床教育, 臨床研修制度Ⅲ	75
一般演題：27日(口演5-IV)：卒後臨床教育, 臨床研修制度Ⅳ	77
一般演題：27日(口演6)：地域医療教育(卒後)	79
一般演題：27日(口演7)：コミュニケーション教育	81
一般演題：27日(口演8)：医療安全教育	83
一般演題：27日(口演9-I)：教育支援, ITの活用Ⅰ	85
一般演題：27日(口演9-II)：教育支援, ITの活用Ⅱ	87
一般演題：27日(口演10)：生涯教育・女性医師	88
一般演題：28日(口演11-I)：教育技法, PBL, TBLⅠ	91
一般演題：28日(口演11-II)：教育技法, PBL, TBLⅡ	93
一般演題：28日(口演11-III)：教育技法, PBL, TBLⅢ	95
一般演題：28日(口演12-I)：多職種連携教育(IPE)Ⅰ	98
一般演題：28日(口演12-II)：多職種連携教育(IPE)Ⅱ	100
一般演題：28日(口演13)：プロフェッショナリズム教育	103
一般演題：28日(口演14-I)：クリニカル・クラークシップ(臨床実習)Ⅰ	105
一般演題：28日(口演14-II)：クリニカル・クラークシップ(臨床実習)Ⅱ	107
一般演題：28日(口演15-I)：地域医療教育(卒前)Ⅰ	109
一般演題：28日(口演15-II)：地域医療教育(卒前)Ⅱ	111
一般演題：28日(口演16)：共用試験(CBT・OSCE)	113
一般演題：28日(口演17)：カリキュラム	115
一般演題：28日(口演18)：医師国家試験・Advanced OSCE	117
一般演題：28日(口演19)：研究者養成, 研究能力の育成	119
一般演題：28日(口演20)：学生指導・メンタリング	121
一般演題：28日(口演21)：医学英語	123
一般演題：27日(ポスター1)：Early exposure	125
一般演題：27日(ポスター2-I)：コミュニケーション教育Ⅰ	128
一般演題：27日(ポスター2-II)：コミュニケーション教育Ⅱ	130
一般演題：27日(ポスター3)：入学者選抜・医学英語・基礎医学教育・東洋医学・漢方医学教育	131
一般演題：27日(ポスター4)：学生指導・メンタリング・プロフェッショナリズム教育	133
一般演題：27日(ポスター5)：共用試験(CBT・OSCE)	135
一般演題：27日(ポスター6)：クリニカル・クラークシップ(臨床実習)	137
一般演題：27日(ポスター7)：SP養成, SP参加型教育	140
一般演題：27日(ポスター8)：地域医療教育(卒後)	142
一般演題：27日(ポスター9-I)：シミュレーション教育Ⅰ	143
一般演題：27日(ポスター9-II)：シミュレーション教育Ⅱ	146
一般演題：27日(ポスター9-III)：シミュレーション教育Ⅲ	148
一般演題：27日(ポスター10-I)：地域医療教育(卒前)Ⅰ	150
一般演題：27日(ポスター10-II)：地域医療教育(卒前)Ⅱ	152
一般演題：28日(ポスター11-I)：学生セッションⅠ	155
一般演題：28日(ポスター11-II)：学生セッションⅡ	157
一般演題：28日(ポスター11-III)：学生セッションⅢ	160
一般演題：28日(ポスター12)：医師国家試験・Advanced OSCE	162
一般演題：28日(ポスター13-I)：卒後臨床教育, 臨床研修制度Ⅰ	165
一般演題：28日(ポスター13-II)：卒後臨床教育, 臨床研修制度Ⅱ	167
一般演題：28日(ポスター13-III)：卒後臨床教育, 臨床研修制度Ⅲ	170
一般演題：28日(ポスター13-IV)：卒後臨床教育, 臨床研修制度Ⅳ	172
一般演題：28日(ポスター14)：薬学教育	175
一般演題：28日(ポスター15-I)：多職種連携教育(IPE)Ⅰ	177
一般演題：28日(ポスター15-II)：多職種連携教育(IPE)Ⅱ	180
一般演題：28日(ポスター16)：教育技法, PBL, TBL	183
一般演題：28日(ポスター17)：教育支援, ITの活用	186
一般演題：28日(ポスター18)：生涯教育・女性医師	189
International Session(Poster)	192
International Session(Oral)	193
特別セッション：医学教育における新たな武器	
卒前・卒後医学教育における超高精細3D画像のコミュニケーションツールとしての有用性	196
筆頭著者索引	197